

おうちの図工室・美術室

人を幸せに元気にする妖怪 – アマビエさんの友だち –

対象学年 小学校 4 年生～

想定時間 最低 2 時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

日本で昔から、天災の前などに現われたとされる「アマビエ」という妖怪がいて、その姿をかいて、持ち歩いたり、飾ったりすると悪い疫病もおさまるといわれています。

もしかしたら、私たちには見えないだけで、アマビエさんの友だちで、あなたや、あなたのおうちの方の願いをかなえてくれたり、災いから守ってくれてくれたりといった、願いや幸せを呼び込む生き物や妖怪が近くにいるかもしれません。

「行きたいところに連れて行ってくれる生き物」「その生き物の中に入ったら、ウイルスから守られて安全に遊べる」「友だちみたいにいっしょに遊んでくれる生き物」・・・あなたや、おうちの方の周りにはたくさんいるかもしれません！！

そのような生き物や妖怪の姿があなたに見えたとしたら、どんな姿（形や色、動き）をしているでしょうか。ぜひ教えてください。

- かく用紙は、画用紙でも、コピー用紙でもよいです。色鉛筆でもクレヨンや絵の具でかいてもいいですね。いろいろ試してみましょう。
紙粘土でつくって、本当にそこにあらわれたようにおいて、おうちの方に写真をとってもらってもいいかも。
- 1つでも、2つでも、3つでも…たくさんのアマビエの友だちを紹介してください。
- その生き物が、①どんな時にあらわれて、②どんなことをしてくれて、③どこに住んでいるのかを文章で説明してください。
- 「どんなことを考えながらかいたか、つくったか」について、文章で書きましょう。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

自分や家族、社会の願いや夢を考えた内容を、生き物・妖怪の姿を使って視覚的に表現します。

共感性

誰かの願いを自分の願いとして考えられる自分や他者への心のイメージの広がりを期待しています。

深く見つめる

その生き物・妖怪が「どこに住んでいるのか」を考えることで、環境を考え、その環境に適応した姿をイメージすることを期待します。

三観点

知識・技能

生き物・妖怪として、どのような姿か等を、かくことで伝えることができる。

思考・判断・表現

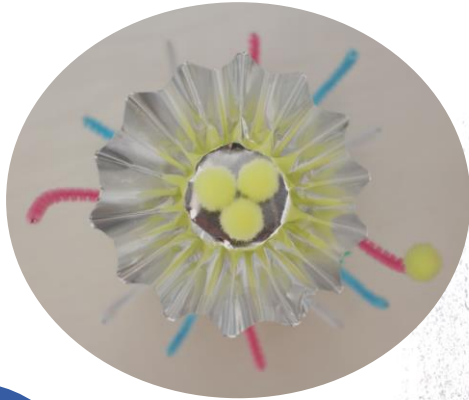
自分や他者の願いの形を、生き物・妖怪として視覚的に捉え、どのようにすれば意匠が表現できるかを考えることができる。

主体的に学習に取り組む態度

生き物・妖怪の姿を多様にイメージし、何度も書き直ししながら、願いを考え直したり、他者への思いを深めようとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば



お友だちになって
新しい楽しいこと
がうまれたら
いいな

一緒に
お話ができれば
いいのにな

みんなが
健康に楽しく
過ごせるように

使用した材料・道具

紙コップ、モール、バラン、アルミカ
ップ、デコレーションボール、はさみ、
セロハンテープ、ペン



「 フウルン 」

私がつくった生き物の「フウルン」は、まどを開けて部屋の空気を入れかえをしているときにあらわれます。フウルンは、ウイルスさんとお話することができます。ウイルスさんと人が友だちになれるように通訳してくれます。普段は、たんぼぼの綿毛のようにふわりと外で風にのりながらいろんなウイルスさんと出会い、お話しをしているみたいです。なので、風にのって楽しさを連れてきてくれるので、「フウルン」という名前がついています。ウイルスさんと人が話し合えて、新しい楽しいことがうまれたらいいなと思いながらつくりました。

おうちの図工室・美術室

こんだてを考えてくれるようかい



タベンカー

タベンカーは、献立が思いつかなくて困っているときにあらわれて、冷蔵庫の中身から作れる食べ物を提案してくれる妖怪です。冷蔵庫に住んでいて、半透明でうす水色の体をしています。変幻自在の体で、普段は食品を包み込んで冷やしてくれています。お母さんが毎日献立を考えるのが大変だと言っているのを聞いて、こんな妖怪がいたらいいなと思って考えました。